

NY マーケットレポート (2017年3月14日)

ロンドン時間の朝方に115円台を回復したドル/円だったが、NY時間に入ると再び上値を抑えられ戻り売りが強まった。翌日にFOMCの結果発表を控えて米10年国債利回りは2.63%付近まで上昇していたが、原油価格がサウジの2月の原油生産が増加していたことを嫌気し、1バレル47ドル台前半まで下落したことで米国債利回りを押し下げた。ドル/円は戻り売りが強まり、114円台半ばまで下落したが、114.50円水準は維持された。

2017年3月14日(火)

海外	高値	安値	終値
USD/JPY	115.19	114.52	114.76
EUR/JPY	122.58	121.66	121.67
GBP/JPY	139.81	139.16	139.44
AUD/JPY	87.00	86.62	86.75
EUR/USD	1.0650	1.0600	1.0601

東京	高値	安値
USD/JPY	115.18	114.77
EUR/JPY	122.63	122.29
GBP/JPY	140.43	139.56
AUD/JPY	87.00	86.72
EUR/USD	1.0663	1.0638

*東京時間は5p.m.まで

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	19,609.50	-24.25
ハンセン指数	23,827.95	-1.72
上海総合	3,239.33	+2.30
韓国総合指数	2,133.78	+16.19
豪ASX200	5,759.14	+1.79
インドSENSEX指数	29,442.63	N/A
シンガポールST指数	3,143.40	-3.75

欧米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20,837.37	-44.11
S&P500	2,365.45	-8.02
NASDAQ	5,856.82	-18.97
英FT100	7,357.85	-9.23
独DAX	11,988.79	-1.24
日経225(CME)	19,490.00	-120.00
ポベスパ指数	64,699.46	-834.84

3/15 経済指標スケジュール

08:30	【豪州】3月	ウエストバック消費者信頼感指数
09:30	【豪州】2月	新車販売台数(前月比)
11:00	【日本】2月	首都圏新規マンション発売(前年比)
13:30	【日本】1月	稼働率指数(前月比)
13:30	【日本】1月	鉱工業生産(前月比)
16:00	【トルコ】12月	失業率
16:45	【フランス】2月	消費者物価指数(前月比)
17:15	【スイス】2月	生産者輸入価格
18:30	【英国】2月	失業率
19:00	【欧州】4Q	雇用者数(前期比)
20:00	【米国】3/10	MBA住宅ローン申請指数(前週比)
20:00	【南アフリカ】1月	実質小売売上高(前月比)
21:30	【米国】3月	ニューヨーク連銀製造業景気指数
21:30	【米国】2月	小売売上高(前月比)
21:30	【米国】2月	消費者物価指数(前月比)
21:30	【米国】2月	消費者物価指数[コア]
22:00	【カナダ】2月	中古住宅販売件数
23:00	【米国】3月	NAHB住宅市場指数
23:00	【米国】1月	企業在庫(前月比)
05:00	【米国】1月	対米証券投資[ネットTICフロー]

商品市場	終値	前日比
NY GOLD	1202.60	-0.50
NY 原油	47.72	-0.68
CME コーン	362.25	+1.25
CBOT 大豆	999.25	-6.75

欧米債券市場	本日	前日
独連邦10年債	0.450%	-0.030%
英国10年債	1.220%	-0.020%
米2年債	1.376%	1.375%
米5年債	2.129%	2.138%
米10年債	2.600%	2.626%

3/15 主要会議・講演・その他予定

日銀金融政策決定会合	1日目
3:00	FOMC 声明発表
3:30	イエレンFRB議長 記者会見
オランダ	下院選挙
米国	連邦債務上限の適用停止期間終了

NY 市場レポート

21:00

◆《主要ニュース》

・原油在庫、減産合意にもかかわらず増加=OPEC 月報

石油輸出国機構 (OPEC) は 14 日に公表した月報で減産合意にもかかわらず原油在庫の増加が継続したことを明らかにし、非加盟国の今年の生産量見通しを上方修正した。世界的な供給過多の解消に向けた取り組みが困難であることが示唆された。

サウジアラビアが石油輸出国機構 (OPEC) に対し、2 月の産油量を前月比 26 万 3300 バレル (2.7%) 増の 1001 万 1000 バレルと申告したことが 14 日、OPEC 月報で分かった。原油先物相場はサウジによる自己申告ベースの増産を嫌気して下落した。

21:30

◆《経済指標の結果》

- 米国 2 月 生産者物価指数 (前月比) 0.3% (前回: 0.6%・予想: 0.1%)
- 米国 2 月 生産者物価指数 (前年比) 2.2% (前回: 1.6%・予想: 1.9%)
- 米国 2 月 生産者物価指数[コア] (前月比) 0.3% (前回: 0.4%・予想: 0.2%)
- 米国 2 月 生産者物価指数[コア] (前年比) 1.5% (前回: 1.2%・予想: 1.5%)



出所: Bloomberg



出所: Bloomberg

・米労働省が14日発表した2月の米生産者物価指数(PPI)は前月比0.3%上昇。市場予想は0.1%上昇だった。前月は0.6%上昇と、12年9月以来の大幅な伸びをとなった。前年比では2.2%上昇、2012年3月以来の最大だった。市場予想は1.9%上昇だった。前月は1.6%の上昇。食品とエネルギーを除くPPIコア指数は前月比0.3%上昇。市場予想は0.2%上昇。前年比では1.5%伸びた。

・項目別に見ると、エネルギー価格が前月比0.6%上昇、食品は0.3%上昇した。
食品やエネルギーなど財部門のPPIは前月比0.3%上昇と、6ヵ月連続のプラス。エネルギー価格が主導した。
電力は1.6%上昇。食品とエネルギー、商業サービスを除いたベースのPPIは前月比0.3%上昇した。

21:30

◆◀ 経済指標の結果 ▶

カナダ 2月 住宅価格指数(前月比) 1.0% (前回:0.5%)
カナダ 2月 住宅価格指数(前年比) 13.4% (前回:13.0%)

23:24

◆◀ 主要ニュース ▶

フランス大統領選挙の候補、フィヨン元首相が公金の不正支払い問題を巡り訴追された。
同氏は訴追にかかわらず大統領選から撤退しないと重ねて表明している。

23:48

◆◀ 主要ニュース ▶

仏大統領選、決選投票でマクロン氏依然リード=オピニオンウェイ

調査会社オピニオンウェイが公表したフランス大統領選に関する最新の世論調査によると、初回投票の支持率は、極右政党・国民戦線(FN)のルペン党首が27%で変わらず、中道系独立候補のマクロン前経済相は24%と1ポイント低下した。共和党のフィヨン氏は20%と横ばい。
また決選投票では、マクロン氏対ルペン氏の場合、60%対40%でマクロン氏勝利、フィヨン氏対ルペン氏の場合、57%対43%でフィヨン氏勝利となる見込み。

1:00

◆◀ 主要ニュース ▶

米下院議長、オバマケア廃止・代替法案大きく変更しない方針—関係者

4:02

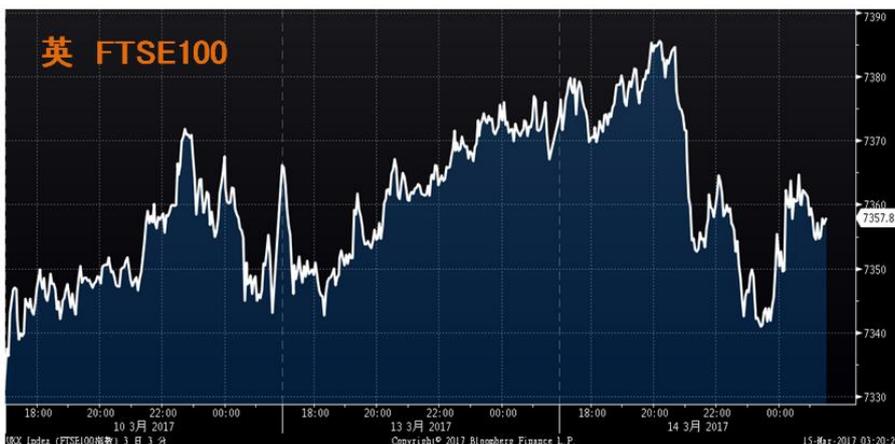
◆◀ 主要ニュース ▶

スパイサー米大統領報道官

スパイサー米大統領報道官は会見で、議会予算局(CBO)の被保険者試算には欠陥があると述べた。
ブルームバーグが関係筋の話として、ライアン下院議長はオバマケア廃止・代替法案は大きく変更しない方針だと伝えていた。議長は、CBOが公表していた、オバマケアの代替案で2018年の無保険者が1400万人に達するとの予想を気に掛けているという。

◀ 欧州株式市場 ▶

14日の欧州株式相場は、この2日間の日程で始まった米連邦公開市場委員会(FOMC)と15日のオランダ総選挙の結果待ちで慎重な商いの中、広範の市場で値下がりした。

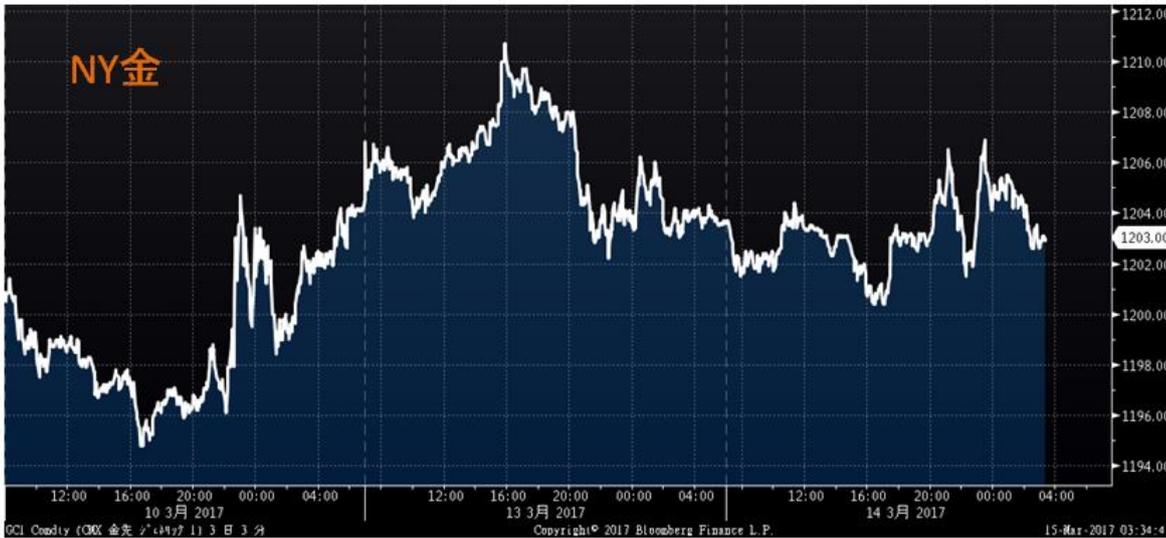


出所: Bloomberg

◀ NY金市場 ▶

14日のNY金先物相場は小幅反落し、前日比0.50ドル安の1オンス=1202.60ドルで取引を終えた。14～15日のFOMCで追加利上げが決まるとの見方を背景に外国為替市場でドルが対ユーロなどに対して上昇したため、金の売りが優勢となった。

ただ、15日のオランダ下院選など欧州情勢の先行き不透明感から金に資金を避難させる動きもみられ、相場は下げ渋った。



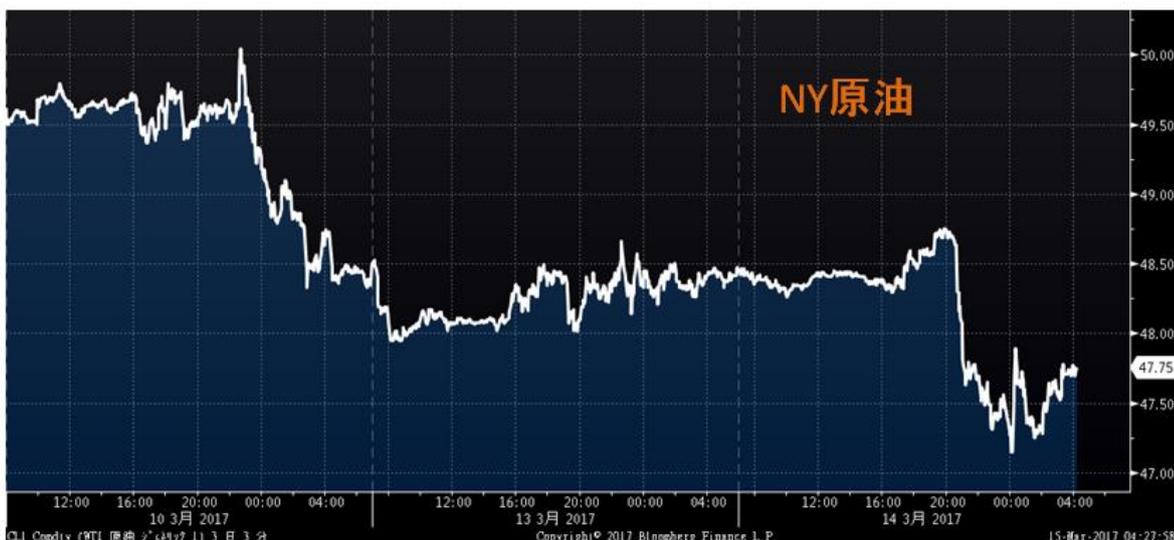
出所：Bloomberg

◀ NY原油市場 ▶

14日のNY原油先物相場は7営業日続落し、前日比0.68ドル安の1バレル=47.72ドルと昨年11月下旬以来約3ヵ月半ぶりの安値で取引を終えた。

OPECの月次報告で減産合意中にもかかわらず原油在庫が増加していたことや、サウジアラビアの2月の原油生産が日量26.33万バレル増の1001.1万バレルに増加していたことが嫌気され、原油価格は下落した。

減産合意の上限である日量1005.8万バレルは下回っているものの、先週の米週間石油在庫統計で供給過剰への懸念も高まっている中、サウジアラビアが下期以降増産したがっている気配も見せており、原油は売り優勢となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

14日の米国株はサウジアラビアが原油生産を増やしたと石油輸出国機構(OPEC)に伝えたことを手掛かりに原油が下げ、株式市場ではエネルギーや資本財・サービス、素材銘柄が売られた。

ダウ平均株価の終値は、前日比44.11ドル安の2万837.37ドルだった。ナスダック総合指数の終値は、18.97ポイント安の5856.82だった。



出所：Bloomberg

《米債券市場》

14日のNY債券市場の米国債相場は、原油先物の下落を背景に長期債を中心に買いが優勢となった。ただ、14~15日のFOMCで追加利上げが決まるとの見方から売りも出やすく、短期債は軟調に推移した。米北東部を襲った大雪の影響などで、商いは低調だった。



出所：Bloomberg

＜外国為替市場＞

ロンドン時間では115円台を回復したドル/円だったが、NY時間に入ると再び上値を抑えられ戻り売りが強まった。翌日にFOMCの結果発表を控えて米10年国債利回りは2.63%付近まで上昇していたが、原油価格がサウジアラビアの2月の原油生産が増加していたことを嫌気し、47ドル前半まで下落したことで米債利回りを押し下げた。ドル円は戻り売りが強まり、114円台半ばまで下落したが、114.50円水準は維持された。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。